山田健太さんと佐藤陽子さん、それぞれにこの新しいテンプレートワークフローを提案したと仮定して、彼らのリアクションを具体的に描写します。

## 山田健太のリアクション

「おお、これは…まさに俺が求めてた形だ！」

山田は、提案されたワークフローの説明を食い入るように聞き、特に「フェーズ1：テンプレートの作成・育成」と「フェーズ2：テンプレートの活用・タスク生成」の具体的な機能とUXに目を輝かせました。

「まず、\*\*『既存プロジェクトからのテンプレート生成』\*\*ね。これだよこれ！俺も過去の成功パターンは頭の中にあるんだけど、それをイチからツールに落とし込むのが正直面倒だったんだ。FocusFlowが自動で抽出して、日付も相対的に変換してくれるなんて、まさに時短。これで、**俺のコンサルティングの『型』がどんどんFocusFlowに蓄積されていく**わけか。これ自体が、ものすごい知的資産になる。」

「そして、そのテンプレートを\*\*『ナレッジドキュメント』として育てていける\*\*っていうのも素晴らしい。タスクの羅列だけじゃなくて、各ステップで『なぜそうするのか』とか『注意点』とか、さらには『過去の類似案件へのリンク』まで埋め込めるってことだろ？新しいプロジェクトが始まった時に、メンバーにも共有できる『プロジェクトの教科書』になるじゃないか。俺が全体を俯瞰しつつ、メンバーも迷いなく作業できる。これはチーム連携の観点からも効果が高い。」

彼が一番食いついたのは「フェーズ2：テンプレートの活用・タスク生成」の部分でした。

「で、いざ新しいプロジェクトが始まったら、その『教科書』を見ながら\*\*『今日やるタスクだけを能動的に引き出す』。ここが肝だね。山田健太、大満足だよ。正直、テンプレートからタスクがドサッと降ってきて、今日のリストがパンクするのを一番心配してたんだ。これなら、『今、目の前にある本当にやるべきタスク』だけが明確になる\*\*から、深く集中できる。急な割り込みが入って計画が崩れても、『今日のタスク』がシンプルなら、リスケもストレスなくできるだろう。」

「このワークフローなら、長期的なプロジェクトの全体像を見失わずに、日々の『深い集中』も守られる。いや、これは本当にFocusFlowだからこそできる体験だ。リリースが待ち遠しいね！」

## 佐藤陽子のリアクション

「きゃー！これ、私のために作ってくれたんですか！？すごい、すごい！」

佐藤は、タブレットを操作するような仕草で腕を組み、提案されるワークフローに興奮を隠せない様子です。

「まず、**『テンプレートを今日の作業へ流し込むストリーム』っていうのが、私にとっては一番大きな改善点です！本当に！私、細切れ時間で動くから、To Doリストが長くなると、それだけで『うわ、今日中に終わらない…』って焦っちゃうんです。でも、これなら『今、私が本当に手を付けるべきタスクだけ』がポンッと出てくる**イメージですよね？これで、もうタスクリストに圧倒されることはなくなる！」

彼女は特に「テンプレートの作成・育成」の部分にも関心を寄せました。

「そして、\*\*『完了したプロジェクトからスマートにテンプレートを生成』\*\*してくれる機能。これ、超助かります！私、うまくいった案件の進め方とか、特定のクライアントとのやり取りのコツとか、頭の中にはあるけど、それを形にする手間がどうしても後回しになっちゃうんです。FocusFlowが自動で『型』を作ってくれるなら、私の『成功パターン』がどんどんデジタル資産として蓄積されていくってことですよね！これがあれば、新しい案件が来るたびに、迷わず自信を持って最適なスタートを切れるようになります。」

「テンプレートが単なるタスクリストじゃなくて、**『ナレッジドキュメント』として詳細なメモやヒントも一緒に保存できる**のも、デザイナーとしてはすごく重要です。例えば、ロゴデザインのテンプレートなら、『ヒアリングで聞くべき質問リスト』とか、『インスピレーション源のギャラリーへのリンク』とかを貼っておけるわけですよね？これがあれば、移動中にスマホでテンプレートをサッと確認して、次の作業のイメージを固められますし、デスクワークに戻ったらすぐにデザイン作業に没頭できます。」

「このワークフローがあれば、どこにいても、どんなに細切れの時間でも、私が本当に集中すべきクリエイティブな作業に、もっと時間を割けるようになります。まさに私の『流れるような集中』を実現してくれる！早く使ってみたいです！」